

大田区中小企業のデジタル化促進のための支援環境整備 「OTA デジタル×Pi0」の創設について

1 背景

世界的なサプライチェーンの再構築や新型コロナウイルス感染症の拡大等、中小企業を取り巻く環境は厳しさを増しており、ウィズ・アフターコロナを見据えつつ、デジタル技術の活用により、事業の生産性や持続性の向上・高付加価値化を進めていく必要がある。

一方で、大田区の状況については、今年度を実施した区内企業に向けたデジタル化の調査(※)において、「取り組む予定はない」「取り組みたいが検討段階」とする割合が6割近くあり、その理由として、「人材不足」「知識不足」「時間がない」といった課題が提示されている。(※)大田区の景況 令和3年4～6月期 特別調査

2 事業目的

これらの状況を踏まえて、大田区中小企業に不足する「人材」「知見」等を補う支援プラットフォーム「OTA デジタル×Pi0」を構築して、デジタル化に向けた機運の醸成を図ると共に、各社の企業規模、事業特性、デジタル化の進捗状況等の段階に応じたきめ細かなサポートを実施することで、企業の稼ぐ力を高めるための最適なデジタル導入を促進する。

3 事業内容（関東経済産業局補助金活用）

- (1) 大田区産業振興協会はじめ、各支援機関等がリアルで提供してきたセミナー、勉強会、商談会、専門家助言等を「OTA デジタル×Pi0」内でもワンストップで提供することで、デジタルの利便性や重要性の認識を高める。
- (2) デジタル化に関する知見を高めるための情報提供、企業の特長やデジタル技術の活用状況を踏まえて、最適なデジタルツールの活用に向けて専門家やスタートアップ等による診断・助言等の導入支援を行う。

4 事業実施・連携体制

大田区産業振興協会が実施主体となり、産業経済部も連携しながら取組を進め、産業支援のハブである「大田区産業プラザPi0」、イノベーションのハブである「HANEDA×Pi0」、デジタル化のハブである「OTA デジタル×Pi0」がリアル×デジタルにて有機的に連携し、大田区企業の稼ぐ力の向上に向けた支援を強化する。



(イメージ)